

第1期計画の評価（案）に関する委員の皆様からの御意見・御提言

箇所	御意見・御提言の内容	宮城県の考え方
—	<p>第1期の評価案については異論ありませんが、多種のソースより指標値を取得しており、多くはサンプリングでしょうから、その客体数（n数）を示すと指標の信頼性・安定性の目安となります。会議中にも発言しましたが、第2期は第8次地域医療計画の一部をなすものと宮城県は整理しましたので、県一本ではなく二次医療圏を意識した指標値の収集をお願いします。</p> <p>全ての指標では難しいことは理解しますが、可能なものは県全体と二次医療圏ごとの数値を併記ください。</p> <p>会議において第8次地域医療計画との関連性が全く示されない点は、気になります。</p>	<p>第2期計画には、宮城県地域医療計画など他の計画との関連性を明確にし、2次医療圏等の単位で取得できる指標や客体数は可能な限り記載します。</p>
—	<p>分野アウトカムである心疾患年齢調整死亡率が減少していたが、中間アウトカムである救護や急性期の指標や初期アウトカムの指標が悪化していた。</p> <p>これは、この2年間のコロナ渦の影響を受けた特殊な状況と思われ、心疾患年齢調整死亡率を決める要因を反映していない可能性がある。今回、これらを正確に評価するのは難しいかもしれない。</p>	<p>ご指摘のとおり、第1期の正確な評価は困難と思われるので、第2期計画に評価を引き継ぐこととします。</p>
—	<p>（次期計画策定に関する要望）</p> <p>専門用語が多く、一般県民にはわかりにくいので、用語解説や図・写真などを入れてほしい。</p>	<p>第2期計画は、県民視点でわかりやすいものとし、専門的な内容については、専門の先生方から御助言、関係資料等のご提供をいただき、用語解説を加え、図表・写真を多く取り入れたものとしします。</p>